



2012年8月 記載要領変更に伴う改訂

**第2類
医薬品**

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



胃腸薬 胃の痛み、もたれ、胃部膨満感に **イノセアプラス錠**

イノセアプラス錠は…

- 胃の粘膜を保護・修復するスクラルファート水和物、胃酸を中和するメタケイ酸アルミン酸マグネシウム、胃酸の分泌を抑えるロートエキスを配合して胃の痛みにも効果をあらわします。
- 利胆剤ウルソデオキシコール酸、消化を助ける消化酵素を配合して飲みすぎ、食べすぎにすぐれた効果をあらわします。
- 消泡剤シロキサリスを配合して、胃部・腹部膨満感にも効果をあらわします。

使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください
透析療法を受けている人。
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください
胃腸鎮痛鎮痙薬
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください
(母乳に移行して乳児の脈が速くなることがあります。)
4. 長期連用しないでください

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 高齢者。
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (5) 次の症状のある人。
排尿困難
 - (6) 次の診断を受けた人。
腎臓病、心臓病、緑内障
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
口のかわき、便秘、下痢
4. 2週間位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

その他の注意

母乳が出にくくなる場合があります。

〔効 能〕

胃痛、胃部膨満感、胃部不快感、胃重、胸つかえ、もたれ(胃もたれ)、胸やけ、げっぷ(おくび)、はきけ(むかつき、胃のむかつき、二日酔・悪酔のむかつき、嘔気、悪心)、嘔吐、食欲不振(食欲減退)、飲み過ぎ(過飲)、食べ過ぎ(過食)、消化促進、消化不良、消化不良による胃部・腹部膨満感、胃酸過多

〔用法・用量〕

下記の1回服用量を食後又は食間に服用します。

年 齢	1回服用量	1日服用回数
大人(15才以上)	4錠	3回
15才未満	服用しないでください	

〈用法・用量に関連する注意〉

定められた用法・用量を厳守してください。

〔成分・分量と働き〕12錠中

成 分	分 量	働 き
-----	-----	-----

<外層>

スクラルファート水和物	1,500mg	胃粘膜障害部に選択的に結合して荒れた胃の粘膜を保護・修復し、胃の痛みを緩和します。
メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	900mg	過剰の胃酸を中和し、胃壁を保護する働きがあります。
シロキサリース	78.95mg (シメチルポリシロキサンとして75mg)	消泡剤として働き、胃の内容物の容積を減らし、胃部膨満感に効果をあらわします。

<内核>

ロートエキス	30mg	胃の働きを調和する神経に作用して、過剰な胃酸の分泌を抑制し、胃の痛みを抑えます。
ソウジュツ乾燥エキス	60mg (蒼朮600mgに相当)	
ジアスメンSS	60mg	強力なでんぷん消化酵素で消化を助けます。
リパーゼAP6	60mg	脂肪の消化酵素で消化を助けます。
ウルソデオキシコール酸	30mg	熊の胆のうから発見された利胆剤でむかつきや嘔気、悪酔などにすぐれた効果をあらわします。

添加物として、セルロース、CMC-Ca、乳糖、マクロゴール、ポビドン、ステアリン酸Mg、無水ケイ酸、炭酸Ca、クロスCMC-Na、香料 (L-メントールを含む) を含有します。

◎保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4) 使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



◎早くよくなっていたいただくためのアドバイス

- お酒、タバコ、酸味の強い食べもの、香辛料(コショウ、トウガラシなど)、コーヒー、紅茶などはなるべくひかえてください。
- 胃に負担をかけないように、消化のよいものをおとりください。
- イライラや緊張など、精神的な面にも注意してください。

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03(5412)7393
受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号